作文読本Q&A

※各郡市より寄せられた声のなかで多かったものをとりあげました。

Q1 作文読本をしていると，「全国学力・学習状況調査」に見られる力は付くのですか。

A 間違いなく付きます。作文読本は，「平成19年度全国学力・学習状況調査」にもあがった，次のような「書く場」「書く体験」を保障します。そのことによって，【基礎的な言語活動や言語事項に関する知識・技能を活用する力】が付きます。

【採り上げられた事実が，どのような理由で述べられているかについて，的確に読み，その理由を要約する。】
【情報の中から必要な事柄を取り出し，新聞の一部に注意点として書き換える】
【自分の考えを，決められた字数で，記事として具体的に提案する】
【絵や写真，図や表，グラフなどを使って，文章を読んだり，書いたりする】
【資料を読み，自分の考えを話したり，書いたりする】
【2つ以上の資料や文章を比べて読んだり，調べたりする】

Q2 取り組みに充てる時間がないのですが。

A 作文読本の中身については，【練習：問題に取り組む】【作文の広場：県内の小学生の作文を読む】【みんなの声：読んだ作品に対して感想を書く】等，それぞれ15分程度の活動に区切ることができます。朝の活動の時間や自習の時間，あるいは個別指導の時間を利用すれば対応できるとの声も多いです。

Q3 解答・解説，朱を入れる時間がないのですが。

A 冊子の最後に解答・解説を入れ，できるだけ自学自習できるよう工夫して作成しています。ただ，記述問題については，例しか挙げていないため，朱をいれるほうが効果的です。書いたもの全て（例えば，誤字脱字に至るまで）を確認するのではなく，評価のポイントを限定すれば対応できます。今回の改訂により，子どもだけで対応できる問題ー解答・解説が増えました。

Q4 「作文を読むだけでも書く力が付く」と聞きますが，どのような活用を図ればよいでしょうか。

A 作文読本は，完全対応ではありませんが，できるだけ県内採用の２社の国語科教科書の配列を配慮して編集しております。教科書教材を扱い，表現活動をする際に，手引きとして，【練習】のいくつかに取り組むと効果的です。

また，【作文の広場】を読むことによって，より幅広い題材にふれたり，目のつけどころのよさを知ったり，さまざまなことばや表現を学ぶこともできます。

実践例

・作文を視写する　・作文を音読する　・書き出しだけを読む
・書き結びを読む　・題名を読む
・気に入った表現に線を引いたり，かこみを付けたりする

【みんなの声】に掲載された感想文を読んだり，まねて書いてみたりすることによって，感想のもち方や深め方を学ぶこともできます。

なお，徳島県立総合教育センターのホームページに，具体的な【『作文読本』の学習指導例】があります。アクセスしてみてください。

URL（http://www3.tokushima-ec.ed.jp/bukai/shougaku/kokugo/index.html）

Q5 学年単位・学級単位でも採用することはできますか。

A できます。

教育印刷（TEL 088−664−6776）までご連絡ください。年度の途中からでも採用できます。

Q6 採用していない学校からも投稿できますか。

A できます。教育印刷にお送りください。また，掲載された場合，ご連絡をいただければ，掲載された子どもには冊子をお送りします。（ただし，実費をいただきます）

送付先（〒770−0003　徳島市北田宮1丁目8−68　徳島県教育印刷株式会社）

Q7 「原稿用紙」に改めて「清書して」送らなければいけないのでしょうか。

A 「清書」について。基本的には誤字脱字のないよう指導された原稿をお送りください。しかし，時間的な都合もあるのか，作文読本編集委員の先生方が批正しなければならない原稿が送られてくることもあります。改めて清書しなくてもかまいませんが，担任の先生が目をとおし，（書き直させるのではなく）誤字脱字等について横に注釈を付けていただくと編集作業の負担が軽減されます。

「原稿用紙」について。作文読本では，以下のように，さまざまなジャンルの表現物を掲載したいと考えております。そのなかには，必ずしも原稿用紙に記述しないものもありますので，原稿用紙と限定はしません。自作のものでもかまいません。ただ，掲載数の確認を文字数で行っている都合上，「マス目」のある用紙に書くことを原則とします。

Q8 作文読本の実物を見たいのですが。

A 徳島県立総合教育センターのホームページに各学年の例があります。アクセスしてみてください。アドレスは（http://www3.tokushima - ec.ed.jp/bukai/shougaku/kokugo/index.html）です。「もっとたくさん見たい」という場合には，鳴門教育大学附属小学校・国語部にご相談ください。（TEL 088−623−0205）わずかではありますが，在庫がございますので，相談にのらせていただきます。ただし，場合によっては，実費等をいただくこともあります。

なお，このサイトには，他に，各学年の【書くこと】の年間指導計画，【書く力】の能力系統表（試案）等，作文指導にかかわる情報も掲載しております。

～こんな表現物も募集しております～

- 国語科の授業を通して生まれた作文
- 本を読んで生まれた作文（感想文）
- 日記などの中から一つの作品として成立するような作文
- 「総合的な学習の時間」に生まれた感想文や意見文，学習についてのまとめの文章等
- 「みつけたよ」カード
- 社会科の時間に生まれた記録文や報告文，学習に対する感想文
- 理科の時間に生まれた観察記録文や学習に対する感想文
- 家庭科の授業を通して生まれた○○の作り方や学習に対する感想文
- 体育の授業を通して生まれた○○ができるようになったことなどの文章
- 道徳の時間に生まれた文章
- ふとしたときに書いた短歌や俳句，詩
- ことば遊びなどを通してできた文章
- 何かの行事のときに書いた文章
- その他，子どもが生き生きと書いた文章　など